

農業資材審議会飼料分科会遺伝子組換え飼料部会（第 36 回）
議事概要

1 日 時

令和 4 年 8 月 10 日（水）14：00～16：25

2 場 所

農林水産省 本館 消費・安全局第 1 会議室（web 併催（非公開））

3 出席委員（敬称略、五十音順）

奥宏海、児玉浩明（座長）、久野裕、福原敏行、山中典子

4 会議の概要

（1）組換え DNA 技術応用飼料添加物の安全性確認

Trichoderma reesei RF5427 株を利用して生産されたキシラナーゼ

- ・ 審議の結果、当該飼料添加物について安全性に関する確認の結果を農業資材審議会飼料分科会に報告することとされた。

JPAo012 株を利用して生産されたフィターゼ

- ・ 審議の結果、当該飼料添加物について安全性に関する確認の結果を農業資材審議会飼料分科会に報告することとされた。

JPBL011 株を利用して生産された α -アミラーゼ

- ・ 審議の結果、当該飼料添加物について安全性に関する確認の結果を農業資材審議会飼料分科会に報告することとされた。

（2）その他

承認品種と従来品種との掛け合わせ品種であって、導入された遺伝子が一部分分離した品種を親品種として使用した場合の後代交配種の取扱いについて

- ・ 審議の結果、上記の取り扱いについて了承された。

安全性確認済みの組換え DNA 技術応用飼料に係る新知見

- ・ 既に安全性確認を受けたトウモロコシ 1 品目及びダイズ 1 品目に係る新たな知見の安全性に関する確認がなされた。